



江 総 務
平成19年 5月 1日

国土交通省道路局長 様

江差町長 濱 谷 一



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について
平成19年4月2日付け国道企第114号による標記の件について、別紙の
とおり意見提出しますのでよろしくお願いいたします。

総務政策課 主幹 高橋勝則

TEL 0139-52-6712 FAX 52-0234

■ 中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について 《江差町》

【今後の道路政策や道路の整備・管理全般についての意見】

・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

これまでの道路網整備は、大都市を中心とした都市周辺から都心への利便性の向上を目指した整備が優先されてきた。

地方と都市を短時間で結ぶ高規格幹線道路や地域高規格道路の整備は、地方の過疎化対策として有効な社会資本整備であり、①田舎が通勤圏になり定住化が図られること、②救急救命医療が確保され安全で安心して住めること、③物流の高速化は1次産業のブランド化による経済の活性化や促進につながるなど過疎対策と直結しております。国は、地方の自立を推し進めておりますが、地方が生き残り国土が繁栄する政策としては高規格道路の整備は重要であり過疎地域からの整備が優先されるべきである。また、整備に当たっては1路線に集中投資を行い早期供用開始（5～10年）とするべきである。（始点・中間点・終点などの同時着工による。）

・ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ① 集中投資による早期供用開始が重要である。
- ② 既存施設の日常的点検や早期の改修による長寿命化を図ることが重要である。

・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

地域的道路（日常生活道路）は高齢者、子供、弱者のための整備は遅れており、バリアフリー化等の整備は、重点的に進めなければならない。町道は国土交通網の毛細血管であり、生活密着道路で今後とも道路整備は必要不可欠でありその財源確保は重要な要件である。

高規格幹線道路網の始点・終点の位置については将来の災害時や緊急時を想定した上で効果や利用度が高い位置にするべきである。

地方における災害時等、緊急時における安全・安心な避難路・連絡路としての道路整備（近接町との複数の連絡道路の整備）を積極的に進めるべきである。